# 



No.359



馬鈴しょ植付(第4営農集団 吉田氏)

里ツカ リカ リカ リカ に 大 に に に に に に に に に に に に に	グループ北海道座談会 にあたって	事異動発令	事会の経過をお知らせ致します	7期」へきよさと農業塾修了式和2年度新規就農者激励状贈呈式	織布マスクの無償配布		変布巴幾萬 95	農3目鐵総長	牛生産改良組合総会里町農地:水保全広域協定運営委員会豆糸	豆目40%/5	(さび生産組合総会	織等 総会報告 町農民連盟第49回定期総会開催	作業フォトギャラリー・	つのリノ言言「自含なえ目
22 2218	1514	1313	12121	11110	aac	188	387	フラ	776	366	66	1	30	)









### 町 通 單 **AU**回

### 72 回 常総会 開催

石井組合長挨拶

昨年を振り返ると、1月に日米

# 添えな

朗唱のみで進められ、例年とは異 領朗唱についても村上参事による 時に村上参事の開会宣言により開 なった形での開催となりました。 面議決による開催となり、JA綱 ナウイルスまん延防止のため、書 会されました。今年度は新型コロ 4月7日、 第72回総会が午前9

り、予断を許さない状況となって 作業が本番を迎える中、感染拡大 開催と考えていたが、これから農 るので、本来なら組合員出席での なった。年に一度の通常総会であ 日本ならびに世界的に感染が広ま 検討し、書面議決を主体とした形 あり、当農協も理事会等で慎重に いる。そのため、中央会と地区組 にあたりまして、中国で発生拡大 のリスクを回避することを最優先 での開催とさせていただくことと 合長会より書面での総会の要請が した新型コロナウイルスが、現在 石井組合長は冒頭「本総会開会

> の導入で複雑化し、大変苦労した。 その中で、食品を中心に軽減税率 が8%から10%へと税率が変わり 和へと変わった。10月には消費税 皇が即位され、元号が平成から令 貿易協定が発効し、5月には新天 清里町においても春先に順調な

> > 9百ヘクタールと作付面積の4割

近くで甚大な被害となった。

ヘクタール、その中で、てん菜は 害が発生し、被害面積総体で12百 蒔き付けが進む中、強風による被



伊藤議長挨拶

感謝を申し上げたい。 あると考えている。改めてお礼と 集し、ご協力いただいたおかげで 円を計上することができた。これ を行い、1月末決算で199百万 8百円、でんぷん加工料の軽減で 進み、期中奨励・値引きとして 農協事業の決算においても順調に なったが、豊作基調の中、農業所 価が低調で推移し、厳しい年と た。しかし、青果物関係は販売単 見られ、酪農・畜産においても安 記録し、馬鈴しょも一定の成果が も恵まれたこともあり、小麦とて 後は、組合員の栽培努力と天候に 早期解決に向け援農を実施。その としては、町や普及所と連携し、 1袋当り30円減の23.6百万円 得は34億円を超える高所得となり 足した乳量、乳価、個体販売となっ は、組合員の皆様が農協事業に結 ん菜は単位当り収量が過去最高を

本年度は、世界的にグローバリ

三上専務挨拶

での緊急防除・まん延防止に向け が一層強まっている。また、清里 きいと考えられ、先行きの不透明 対アメリカ等の貿易協定は年々関 確認されたシロシストセンチュウ 的な人手不足に加え、今回発生が 農業においても経営所得安定対策 の影響により日本経済の減速は大 響が大きくなっており、新型コロ 税率が削減され、農畜産物への影 ズムが進む中、TPP、 産資材の輸送費の値上がり、 数量払単価のマイナス改定、 ナウイルスも世界的に猛威を振る た対応等課題も多い。 近々での対 終息が見えてきていない。こ 対 E U 各生 慢性

引き続き祝電・メッセージの報ます。」と挨拶しました。ご健勝とご多幸をご祈念申し上げに員ならびにご家族の皆様方のの出来秋が迎えられますことと、の出来秋が迎えられますことと、豊穣

刀引卜帮和

9時4分に無事終了しました。 (案)」が提案され、 海陽一致で採作業事故の撲滅に向けた特別決議作業事故の撲滅に向けた特別決議挨拶の後、鈴木業務部長による「農挨拶の後、三上専務の閉会の挨別で採されました。 議長団のスムーズな進行により

# ◎質問はありませんでした。

⑥集団高橋氏春小麦植付⑨集団植田氏ほ場内にタンチョウヅル飛来



### 清里町農民連盟

### 第 49 回定期総会 開催



4月9日(木)、第49回清里町長協2とになりました。第4回清里町農協2を開催されました。 一次では、新型コロナウイルス感染症対策として、2月28日から北海道の緊急事態宣言が出され、 「密閉、密集、密接)を回避する で開始がある。 を開始が出され、 を用り出くれる を用りまる を用りを を用りを

対策や食料農業農村基本計画対策、対策や食料農業農村基本計画対策では、3本立ての要請を続け対策では、3本立ての要請を続け対策では、3本立ての要請を続け対策では、3本立ての要請を続け対策では、3本立ての要請を続けす動いていること。身口シストセけ動いていること。身間を行ったこと。風害対策として令和2年度は、国有林対策として令和2年度は、国有林対策として、町内対策では、国有林対策として令和2年度は、国有林対策として令和2年度は、国有林対策として令和2年度は、国有林対策として、町内対策で過報告』について、町内対策で過報告』について、町内対策で

こ。対策等1年間の運動経過を報告し対策等1年間の運動経過を報告し経過、酪農畜産対策、消費税増税畑作物の交付金単価の改定対策の

第2号議案『令和元年度会計収

民組織結成で周年・清里町農民連針(案)』では、電柱敷地料手数料が、令和2年度運動方第3号議案『令和2年度運動方名こととなったのでなくなること等の報告を行った。ること等の報告を行った。ること等の報告を行った。

(第3号議案『令和2年度運動方 (第)』では、令和3年度に農 対策、真の農政改革の実現、生産 対策、真の農政改革の実現、生産 財力対策を充実させ、更に北見地 町内対策を充実させ、更に北見地 田の視点に立った農政運動を 発して、 の視点に立った農政運動方

第4号議案『令和2年度収支予第4号議案『令和2年度収支予算(案)』及び、『賦課金徴収(案)』では、令和3年度に実施予定の組織結成5周年事業に向けて、特別徴担金を徴収し、周年事業積立金として積立をすることを提案した。との結果となり、全て可決承認をとの結果となり、全て可決承認をいただきました。

### お知らせ

◎組合員の皆様におかれまして は、農作業等に追われ気持ちが 焦ると、労務災害の件数が多く なります。安全確認・安全作業 で、くれぐれも労災事故に会わ ないようご注意していただきた いと存じます。

万一、農作業において、労災 事故でケガをされた方は、ケガ の大小にかかわらず、速やかに (出来るだけその当日) 病院で 治療を受けてください。その後、 農民連盟事務所まで来ていただ き、事故状況等の聞き取りをし た後、書類を作成し手続をしま す。

◎労災保険に関して、事業主お よび、その家族の方で、就職・ 卒業・結婚・Uターン・死亡等 の理由により、保険に新たに加 入・脱退の変更が必要な場合は、 できるだけ速やかに連盟事務所 までご連絡下さい。手続きが遅 れますと、労災の適用を受ける ことができません。

◎土地等(畑・宅地・山林・砂 利等)の移動(売買・収用・譲渡) があった場合は、連盟事務所ま でお知らせいただきたいと思い ます。特に生前一括贈与で納税 猶予を受けられている農地につ いてはご注意いただきたいと存 じます。

◎ご相談、ご意見、ご希望、ご 不満、不明な点等がありました ら、各集団内の執行委員に相談 していただければ幸いです。

事務局

### ○役 致しました。 選協議を行い、 任された13名の執行委員により互 委 副委員長 し、新たに選任された了名と再 4月10日第1回執行委員会を開 記 長 長 事 園木

○執行委員 澤田 坂野 岩本 桑島 将嘉 和弘 英克 義幸 昭寛 史 新 新 新 新

1 集 団

潤

10

集団

新執行体制を決定 9集団 8集団 7集団 6集団 5集団 4 集団 田邊 羽田野 岩瀬 佐々木 大槻 哲也 昭寛

仁志

農畜産対策専門委員会

員長

桑島

義幸

大槻

澤田篤史・佐々木一則

谷澤昌浩·

吉田哲也・

岩瀬豊秀 植田孝充

朋之 豊秀 孝充 昌浩 義幸 卓也

**新** (新 副委員長

委 副委員長 員 専門委員会

岩瀬 佐々木一則 石井卓也 一俣清史・坂野和弘

副委員長 委員 組織対策専門委員会 上本 園木

雄 将嘉

則 (新

田邊朋之・垂石英克 石井勝之 潤·岩本将嘉 一・羽田野正人

動を広げ、 く集め、代弁し、 農村の為に、農民運動を力強く推 を充実させ、地区・道農連へと運 を提供していきながら、町内対策 団の代表として、 任期2年の間、 副 部 長 地域の発展と、農業・ 植田 いろいろな情報 各盟友の声を広 各執行委員は集  ○各専門委員会・

(新執行部体制)

3集団

和弘 宗央 2集団

宗央

部 員 長

酪農畜産担当部会

石井卓也

部

長

澤田

広報担当部会 吉田哲也·谷澤昌浩 田邊 石井勝之 朋之

桑島義幸・ 雄 羽田野正人 園木昭寛

**月4**組合だより 2020.5

5

### 組織等 総会報告



# ×ごぼう生産組合総会

2階会議室にて開催されました。 3月24日、第31回清里町ごぼう生産組合定期総会が JA清里町

催されました。

他』においては、ダンボールの強度試験、 総会は終了しました。 質疑応答では、繰越金についてや学習会の予定について等質問され 事業の補給金、選果場使用料改定について等の説明がなされました。 和2年度事業計画案並びに収支予算案について』議案第3号『その 『令和元年度事業報告及び収支決算報告について』議案第2号『令 塚田副組合長が議長となり、議案審議に入りました。議案第1号 各市場の情勢、 価格安定

報告』議案第2号『令和2年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について』

議案第1号『令和元年度経過報告並びに収支決算報告について・会計監査

3月30日、スイートコーン生産組合第32回定期総会が書面決議により開

提案されました。全議案について、賛成多数により可決となりました。

★果樹生産振興会総会

**▼令和2年度役員** 

組

合長

柳谷

克彦

・副組合長

我妻

健

### \*令和2年度役員

合長 田邊

副組合長 塚田

★わさび生産組合総会

3月26日、第32回わさび生産組合定期総会兼全体会議が開催され

議案第1号『令和元年度事業報告及び収支決算報告並びに会計監



ました。

4月10日、

第31回果樹生産振興会総会が書面決議により開催され

報告』議案第2号『令和2年度事業計画並びに収支予算案』議案審

両議案とも、賛成多数により可決となり総会は

議案第1号『平成31年度事業報告並びに収支決算報告および監査

# 勉

# 

### ▼令和2年度役員

会

終了しました。 議がなされました。

副会長 野崎







# ×大豆組合総会

した。 4月17日、 第4回大豆生産組合総会が書面決議により開催されま

り全議案について可決となり、総会は終了しました。 第2号『令和2年度事業計画(案)並びに収支決算(案)について、 議案第3号『名簿・役員について』提案されました。賛成多数によ 議案第1号『令和元年度事業報告並びに収支決算について』議案

れ、閉会しました。

◆令和2年度役員

組

合長

副組合長

坂 野 山崎

和弘 幸 わさび耕作組合協議会定期総会の報告もなされました。

議案に対する質疑応答としては試験品種についての要望が挙げら

支予算(案)について』議案第3号『その他』として斜網地区農協 査報告について』議案第2号『令和2年度事業計画(案)並びに収

## ▼令和2年度役員

組

合長 渥美 誠 副組合長 吉田



# ★清里町農地 ・水保全広域協定運営委員会

が書面決議による総会決議で開催されました。 4月10日、第5回清里町農地·水保全広域協定運営委員会定期総会

並びに監査報告について』議案第2号『令和2年度事業計画及び収支 員会参加同意書の承認について』他、事務局より提案されました。 げ料金表について』議案第4号『清里町農地・水保全広域協定運営委 予算について』議案第3号『令和2年度運営委員会日当、作業等借上 議案第1号『平成31年(令和元年)度事業実績及び収支決算報告に

特に質疑等無く全ての議案が可決され、総会は終了しました。

\*令和2年度役員 · 会 長 三上 博由 ・副会長 森田 健

### ★和 牛生産改良組 合総会

した。 4月20日、第8回和牛生産改良組合定期総会が書面決議により開催されま

和2年度会費(改良組合・黒毛特別会計)並びに徴収方法について』の審議 が行われました。全ての議案が賛成多数により可決され、総会は終了しました. 「令和2年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について』議案第3号『令 \*令和2年度役員 議案第1号『令和元年度経過報告並びに収支決算書について』議案第2号 ・組合長 澤田 篤史 ・副組合長 橋本

# ★シカ柵維持管理組合総会

りました。 組合員からは決算に関する質問や既存のゲートについての発言が挙が ワナ免許及びワナ購入の件について事務局より説明がなされました。 の承認について』が提案され、議案第4号『その他』において、猟銃 並びに収支予算(案)について』議案第3号『組合年会費及び賦課金 告及び会計監査報告について』議案第2号『令和2年度事業計画(案) 2月21日、第19回シカ柵維持管理組合定期総会が開催されました 議案審議では、議案第1号『平成31年度事業報告並びに収支決算報

\*令和2年度役員 組合長 安藤 忍 副 副組合長 浮須 伸尚

### ★酪農3組 織総会

同定期総会が書面決議により開催されました。 4月吉日、 酪農組合、乳牛検定組合、 酪農ヘルパー利用組合の合

### 酪農組合

提案され、全ての議案が賛成多数により可決されました。 議案第2号『令和2年度事業計画(案)並びに収支予算(案)につ いて』議案第3号『令和2年度賦課金の賦課並びに徴収について. 議案第1号『令和1年度経過報告並びに収支決算報告について.

### ●乳牛検定組合

全ての議案が賛成多数により可決されました。 2年度組合員負担金の負担基準及び徴収方法について』が提案され 事業計画(案)並びに収支予算(案)について』議案第3号『令和 表、借受勘定及び監事の意見書について』議案第2号『令和2年度 議案第1号『令和1年度事業報告書、収支決算書並びに貸借対照

# 略農ヘルパー利用組合

賛成多数により可決されました。 は報告事項として就業規則の制定について提案され、 第4号『特別賦課金徴収について』議案第5号『その他』において 支予算(案)について』議案第3号『年会費の徴収について』議案 査報告について』議案第2号『令和2年度事業計画(案)並びに収 議案第1号『令和1年度事業報告書並びに収支決算書及び会計監 全ての議案が

### ▼令和2年度役員

- 酪農組合 組合長 佐藤
- 乳牛検定組合 組合長 岡崎 英 繁之 雄
- 酪農ヘルパー利用組合 組合長 前中 康男





# GPSガイダンス講習会

# 一識を深めて春の作業

ターの敷地内 方法を学びました。2日目には神威麦作セン 設定の方法やラインの引き方など基本的な操作 階会議室にて座学が行われ、 で約6名の生産者が参加し、 7日に㈱トプコンによるによるGPSガイダン ス講習会が開催されました。 4月2~3日に㈱ニコン・トリンブル、6~ 講習会には4日間 製品の紹介と初期 1日目にはJA2

法や、けん引 義な講習会と 方法等を聞い 作業機をつけ 等基本的な方 場の外周をと 行を行い、ほ 設定をした走 われ、実際に 実地講習が行 なりました。 を深める有意 る作業を行う に場所を移し た場合の操作

は

# 可変施肥機講習会

# 作業の効率化に大いに活用を

、㈱による可変施肥機に係る講習会が開催され 4月10日、JA2階会議室にてスペースアグ

ことが説明され、 昨年の網走の実績から増収が確認されている を受けました。また、可変施肥の効果について た際のメリット、デメリットについて等の説明 際の利用方法や衛星リモートセンサーを利用し 今回の講習では約20名の生産者が参加し、 実際のス その他、 概略の使用方法で



栅等、 課題に対する 門において、 ました。各部 望をいただき 質問·意見要 場となりまし 合員とJAと 発言され、 点についても 展望といった の意見交換の 方策や今後の の遊離土、鹿 活発な

## で後の展望に、 様々な意見

いて、ビート 気象データアプリ、既存施設の運営・活用につ だきました。『その他』においては、FAXや 和2年度事業計画(案)について』『第10期総 え方について』『定款の一部改正について』『令 和元年度事業決算見通しおよび剰余金処分の考 冬期懇談会が実施されました。懇談事項は『令 合5ヶ年計画について』提起し、ご意見をいた 2月26日~28日の3日間に渡り、令和2年度



# 野菜づくりに向けて

ました。自転車や車、台車を押 22日に緑資材セールが実施され 4月21日に札弦資材セール、

見せておりました。 開始時間前から来られる方もおられ、賑わいを 客様にお集まりいただきました。 してくる人等、今年も多くのお

をされている姿が見受けられる等、今年も札弦・ という方や、現場の職員に購入品について相談 緑地区の方々に活用していただけたようです。 セールに来られた方の中には、「急いで来た」



時期について、少雪による影響や冬枯れについ されました。質疑には、縞萎縮の懸念、追肥の の時期、発生しやすい病害についての説明もな 更に根浮き等に注意が必要との説明がありまし から、残存する窒素分が多くなると見込まれ 回っておりますが、土壌凍結が入っていること 理について説明されました。今年は茎数につい 空教室が各集団代表ほ場で開催されました。 て等の質問が発言されました。 た。その他、薬剤散布に係る留意点、鎮圧作業 ては昨年ほどではないものの、平年を大きく上 普及センター職員より、春期の秋まき小麦管 4月14日、15日、27日に第1回秋まき小麦青



# 不織布マスクの無償配布

## 感染予防の徹底と マスク不足の不安解消し

鑑み、4月24日、組合員宅へ「不織布マスク」 染症リスクに対する不安が広がっている状況を の無償配布を実施致しました。 クが上がらないよう、マスクの着用と手洗いの これから、農繁期を迎える組合員の感染リス 新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、

きたと思います。 徹底に努めていただくよう啓蒙を行い、さらに マスク不足の不安解消にも応えることがで



### 令和2年度 新規就農者激励狀贈呈式



令和2年度新規就農者激励状贈呈式

が授与されました。 全国共済連北海道本部より激励状 Aグループ北海道の系統4連と 石井組合長より「8人の皆様が 新規就農者に対し

ご両親の後を継いで経営者として が重要となって来る。 のは若い力、 と進んでいる。それに対応できる 動操舵等、行き着く先は無人化へ GPS等も含めたトラクターの自 業に関しては大変な転換期を迎え 変ありがたいと思っています。」 成長していくと考えている。その 新しい力として入ってくることを にして取り組んでいただければ大 ために一つ一つの積み重ねを大事 と激励の言葉がありました。 それは、技術的な部分であり 若い発想と柔軟な頭 皆様は今後

張りたい。」との抱負が述べられ 発展に寄与できるよう一生懸命頑 思いです。これからは一日でも早 待と声援に対し、身が引き締まる く地域にとけ込み、 対する感謝の言葉と、「皆様の期 の答辞では激励状、記念樹贈呈に 新規就農者である中平開斗さん 清里町農業の

### ▶新規就農者紹介



第8営農集団 (佐々木盛太郎さん長男) 佐々木 隆成さん



第8営農集団 (伊藤優貴さん長男) 伊藤 陸さん



第2営農集団 (佐藤弘康さん長男) さとう ひびき 佐藤 響さん



第1営農集団 (中平哲也さん長男) なかひら 開斗さん



第10営農集団 (佐藤繁雄さん長男) 佐藤 拓也さん



第10営農集団 (浅野裕之さん長男) 翔さん 浅野



第9営農集団 (垂石英克さん長男) 佳也さん



第8営農集団 (塚田勉さん長男) 塚田 都哉さん

## 第フ期 JAきよさと農業塾修了式 与名が永光語

学習に対しての敬意と、これから 最後に、7期生を代表して、樫村 られました。その後、7期生5名 農業人としての激励のお言葉が贈 所池田支所長から、この2年間の 網走農業改良普及センター清里支 としての決意が述べられ修了致し ただいたお礼と、これから農業人 俊貴君から、この2年間ご指導い の修了式が執り行われました。 に修了証と営農日誌が贈呈され、 JA清里町石井組合長ならびに

大森 正隆さん 石井 渉平さん 樫村 俊貴さん 南出 浩喬さん 第7営農集団 荒木 翔太さん 室にて、きよさと農業塾第7期生 4月15日、JA清里町2階会議

日本は食料自給率が低いこともあ 器やデー 的に食料の供給がストップするこ り、予期せぬ事態が起これば最終 得と、輪作体系を考えながら反収 いる。一〇十を含めた情報通信機 い。現在、農業は変革期を迎えて 広い視野をもって進んでもらいた 8名と人数が多いことを大変嬉し ありました。 でもらいたい。」と激励の挨拶が をもってこの先の農業人生を進ん を司る農業者としての誇りと自覚 とが心配される。 を上げていくことが重要となる。 のため自然に即した栽培技術の会 かなか逆らうことが出来ない。 かし、農業は自然相手であり、 されていく時代に入ってきた。 んだ2年間のカリキュラムの中で く感じている。これから実践を含 タを基にした農業が展開 皆様はその食料 そ な

と農業塾

修

さし

きし

▼第9期生

受講していただき、農業技術を磨い

機会があるかと思います。

積極的に

様には今後2年間様々な研修等の ター清里支所池田支所長からも「皆

来賓の網走農業改良普及セン

第7期生 第2営農集団

第6営農集団

第7営農集団

第1営農集団 第2営農集団 第8営農集団 第8営農集団 第8営農集団 第9営農集団 第10営農集団 第10営農集団

中平 開斗さん 響さん 佐藤 陸さん 伊藤 佐々木隆成さん 塚田 郁哉さん 佳也さん 垂石 翔さん 浅野 佐藤 拓也さん

### 令和2年度 JAきよさと農業塾

### 第9期JAきよさと農業塾入校式 農業の変革期、 力強い展開を

期生8名の参加のもと行われまし 4月17日、農業塾入校式が第9

石井組合長からは、「本年度は

の仲間と知り合うことがあります ていくことは当然重要ですが、多く ただきたい。」と挨拶されました。 ので、この機会を最大限活用してい

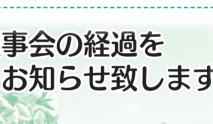
# 学習会

となり、開催致しました。 期生の学習会を、村上参事が講師 Aの存在意義、 3月24日、きよさと農業塾第8 JAの歴史と事業展開を始めに JAは農家が

作った組合員自らの組織であるこ れました。 関しても熱いメッセージが述べら 相互扶助の意識、JA綱領につい とが改めて説明されました。また に向けての心積もりといった面に ての話がなされた他、今後の営農

と。後悔するなら実行してほし り、JAの理念や位置付けに対す い。」と激励を込めた言葉が贈ら の一歩前へ、動いてやってみるこ した。最後に、参事からは「現状 る理解を深めていただけたようで 塾生はじっくりと耳を傾けてお 学習会は終了しました。







# 3

3月17日

付

議

事

項

議案第1号 に向けた特別決議(案)」の採択 議案第2号 「農作業事故の撲滅 運用委員会委員の推薦について 清里町農業振興資金

常総会の対応について 議案第3号 新型コロナウイルス 緊急事態宣言を踏まえた第72回通

の取り組みについて



てける事業分量配当金の明細につい 令和元年度剰余金処分案にお

# 付

4月7日

### 議 事 項

ついて 議案第1号 再建組合員の承認に

5 度額並びに貸越極度額の決定につ 議案第2号 理事に対する供給限

議案第4号 約について 議案第3号 固定資産の取得につ 第72回通常総会の集

らり 議案第5号 理事の報酬配分につ

<u>こ</u>い 5 議案第6号 職員の要員計画につ

議案第8号 務報告書について 議案第7号 ・理事の推薦について オホーツクNOSA 行政庁に提出する業

5 イアンス・プログラムの制定につ 議案第9号(令和2年度コンプラ

表の改正について のリスク評価書およびリスク総括 議案第10号 当組合における取引

### 報告事項

画集計について 令和2年度組合員勘定収支計

令和2年度営農計画作付面積

### 組合員状況

(令和2年5月1日現在)

■組合員数

〈前回報告より〉

下組合昌 (個人) 221名 (変動なし) (法人) 13法人(変動なし) (個人) 1,304名 (5 名增) 准組合員

(法人) 0法人(変動なし) 19団体 (変動なし) // (団体)

(合計) 1,557

3. 令和2年度清里町農業振興資

金貸付事業(第1回目申し込み)

集計について

事異動の発令がありました。 ( ) は異動前の所属部門 令和2年4月1日付をもって人

### ○鈴木 隆信

交付金の決定内容について

6. 令和2年度固定資産取得価格

5. 令和元年産経営所得安定対策

算について

令和元年産規格外小麦の本精

について

業務部長

(業務部燃料自動車課長

### 〇山賀 仁志

場長】 営農部製造課長【清里でん粉工

### ○杉山 裕紀

業務部燃料自動車課長 【農業機

(業務部燃料自動車課調査役【給 油所所長】)

(業務部業務課調査役【麦作抇

業務部業務課長

○佐藤 清孝

○髙野 亮二

営農部経営課長 兼農家経済再建対策室長

(営農部農畜産課調査役

【豆·青果担当】)

兼農家経済再建対策室 営農部経営課調査役

(営農部経営課主幹)

8. 農林年金にかかる特例業務負

7. 金融店舗レイアウトの概要に

交渉結果について

担金の長期前納への対応について

(営農部製造課調査役)

械センター長】

○佐山

(業務部業務課) 業務部業務課主査

0上田

(内部監査室)

営農部農畜産課調査役 (営農部農畜産課主幹)

(給油所所長)

(業務部燃料自動車課主幹)

金融部金融課主幹

兼農家経済再建対策室主幹)

(業務部燃料自動車課 業務部燃料自動車課主査

○河合 尚也

営農部経営課主査

金融部共済課主査

(金融部共済課)

和男

(営農部農畜産課) 業務部業務課主査

〇吉田 逸人 管理部企画審査課兼管理課

明日香

管理部企画審査課 業務部業務課

○横田 祐二

業務部燃料自動車課主幹

〇森 大樹

. 営農部経営課主幹

○岩崎

(金融部共済課主査

○丹野 翔太

〇大内田 結

〇福井 碧斗

業務部燃料自動車課【給油所】

営農部農畜産課

金融部金融課

○髙橋 梨香子 営農部農畜産課

〇日下 稜那

管理部管理課



○髙橋 知輝

(金融部金融課) 金融部共済課

○清野 寿彦

営農部製造課

〇岸里 (営農部製造課準職員)

未来

(金融部金融課準職員) 金融部金融課

りました。 ■令和2年4月1日付で採用があ

○佐藤 来紀

⚠️組合だより 2020.5

### ご紹介し ま す



い致します。



○生年月日 前 佐さ 藤っ 平成13年3月7日 来らいき

○抱 はバスケットボールをすることで マンガを読むことが趣味で、 属 先 色々なことを学び 営農部農畜産課 特技

吸収して仕事をまかせられる職員

になりたいです。

〇配 属 先 ○趣味・特技 〇出 身 校 〇出 身 地 ○生年月日 前 網走市 業務部燃料自動車課 JAカレッジ 平成12年8月7日 バドミントン 給油所 碧まから

慣れ、 ②抱 くお願いします。 し頑張りたいと思います。よろし 即戦力になれるように努力 一日でも早く仕事に



〇出 身 校 〇出 身 地

JAカレッジ

網走市

○趣味・特技

プロ野球を見ること

〇出 身 校 地 ○趣味・特技 ○生年月日 前 斜里町 映画鑑賞・シフォン 大力の世だ 平成10年1月22日 星槎道都大学 結ぶ



日も早く安心して仕事を任せてい ○抱 〇 名 きところは全部吸収していき、 なるために、 ただけるよう努力して参ります。 ○配属先 ○趣味・特技 〇出 身 地 〇出 身 校 ○生年月日 特技はお菓子作りです。 前 先輩職員の吸収すべ 管理部管理課 趣味は卓球と読書で 日< さ 下か 平成13年9月20日 小清水町 北海道清里高等学校 一人前の農協職員に

日々精進していきたいと思います。

冝しくお願い致します。

りますので、どうぞよろしくお願 が、JA職員として一生懸命頑張 至らない点も多々あると思います 初めてなことが多く 金融部金融課

○抱  ケーキ作り

属先 負

と「緑」を守り、育む一員として ました。仕事を通じて、「食」と「農」 仕事をさせていただくことになり ○抱 くこと 〇 名 ○趣味・特技 )生年月日 身 校 身地 属 負 先 前 斜里町 営農部農畜産課 高かはし 自然豊かな清里町で 読書・裁縫・絵を描 酪農学園大学 平成10年3月1日 梨g 香g 子こ



# 退職にあたって

### 定年退職

業務部長 朝倉 浩三



し上げます。
期を控えてお忙しいことと推察申家族の皆様におかれましては春耕家族の皆様におかれましては春耕るがとなりましたが、組合員とご季節となりましたが、組合員とご

さて、私事、昭和53年に入組以来、さて、私事、昭和53年に入組以来、から感謝とお礼を申し上げます。から感謝とお礼を申し上げます。から感謝とお礼を申し上げます。から感謝とお礼を申し上げます。

ありました。清里町に2つ農協がは、昭和59年に増改築し、私が入は、昭和59年に増改築し、私が入は、昭和59年に増改築し、私が入は、昭和59年に増改築し、私が入は、昭和59年に増改築し、私が入は、昭和59年に増改築し、私が入は、昭和59年に増改築し、私が入は、昭和59年に増改築し、私が入は、昭和59年に増改築し、私が入

あるということは知らずに、奥にあるということは知らずに、奥にに過ぎました。

中で「品目横断政策」、「戸別所得 は、人口増加局面においても大き 少には歯止めはかからず、比例し の中で、結果として、農業者の減 なその場限りといえるような農政 変わり、売上で見ればそれなりの 所得安定対策」へと目まぐるしく 補償政策」、そして現在の「経営 その後の政権交代と時代の変化の な問題と言わざるを得ません。 て食糧自給率が下がっていること 水準となってはいますが、この様 量が売上(収入)という非常にシ ということで、各作物の値段×数 ンプルで解りやすいものでしたが、 勤務した当時は、政府管掌作物

来あるものになると確信して疑いであり、「農業」という産業は未で良質な農畜産物を生産するという農業の基本を忠実に行えば、消で良質な農畜産物を生産するとい展が予想されますが、安全・安心展が予想されますが、安全・安心間のEPA、アメリカとのTGA間のEPA、アメリカとのTGA世界的には、TPP11、日EU世界的には、TPP11、日EU

はないかと感じます。をまとめることが何よりも必要でが結集し、管内、全道、全国と力同様にJA清里町に全ての組合員ません。そのためには、これまで

大変、お世話になりました。大変、お世話になりまして、一言となり、実り多い年となりますこと、はる員、ご家族、役職員皆様に、改めてこの間のお礼と感謝をに、改めてこの間のお礼と感謝をに、改めてこの間のお礼と感謝をに、改めてこの間のお礼と感謝をに、改めてこの間のお礼と感謝をに、強ながら協同組合運動に関わて、陰ながら協同組合運動に関わて、陰ながら協同組合運動に関わて、陰ながら協同組合運動に関わて、急ながら協同組合運動に関わるサポーター、参加するサポーター、参加するサポーター、参加するサポーター、参加するサポーター、参加するサポーター、参加するサポーター、参加するサポーター、

•

### 定年退職

業務課長 田村 誠



さて、私事ですが、この度3月変お忙しいこととご推察致します。管理、蒔き付け等の準備により大れましては春耕期を迎え、ハウスれましては春耕期を迎え、ハウス

で エーコープきよさと店に臨時職員力 思い起こせば、昭和53年より員 年退職させていただきました。で 31日を持ちましてJA清里町を定

としてお世話になり、昭和63年より、人と人との繋がりの大切さを明に5年と長きに亘り勤務させていただきましたこと、心より感謝即し上げます。特にエーコープ時間に5年と長きに亘り勤務させていただきましたこと、心より感謝中し上げます。特にエーコープ時間は組合員の皆様よりご指導を関い、人と人との繋がりの大切さをといただきました。昭和63年より思い起こせば、昭和53年より思い起こせば、昭和53年より思い起こせば、昭和54年より

でれています。 影響が大きく変化することが懸念に日米貿易協定発効等、農業へのに日米貿易協定発効等、農業へのにのの発効、さらい、日日リ・EPAの発効、さらい、日日リ・EPAの発効、ファア

おります。
必ずや乗り越えられると確信して
結集することにより、この難局を
役職員が一体となり、更に農協に
しかしながら、組合員ならびに

ていただきます。

中し上げ、定年退職の挨拶とさせ申し上げ、定年退職の挨拶とさせいる。

様、役職員の皆様の末永いご健勝様、役職員の皆様の末永いご健勝

ありがとうございました。 長きに亘り、大変お世話になり



金融課 辺見 希美

お慶び申し上げます。 れましては、益々ご健勝のことと 私事ですが、この度3月31日を 陽春の候、 組合員の皆様におか

持ちまして清里町農業協同組合を 退職致しました。 産課に6年、金融部金融課に2年 平成24年に入組し、営農部農畜

事業という幅広さを肌で感じまし 事をさせていただき、農協の総合 種子麦、種芋、イチゴに携わらせ 勤めさせていただきました。 口と渉外担当をさせていただきま ていただきました。金融課では窓 た。農産、金融と全く異なる仕 農畜産課では農産担当で、主に

機会を通してご指導、ご鞭撻をい かけすることもあったと思います ただきましたことを心よりお礼由 役職員の皆様方には多々ご迷惑お 上げます。 この8年間、組合員の皆様方、 農産指導、貯金窓□等様々な

未熟な私が今日まで勤めてこら

れましたのも、皆様方のあたたか 致します。 いご支援とご厚情の賜と深く感謝

拶とさせていただきます。 員皆様、役職員皆様のご健勝とご 協同組合の益々のご発展と、 大変お世話になりました。 多幸をご祈念申し上げ、退職の挨 最後になりますが、清里町農業 8年間 組合

管 理 課 橋本 水輝



お慶び申し上げます。 れましては、益々ご健勝のことと 陽春の候、 組合員の皆様におか

課に5年間勤務させていただきま 平成27年に入組し、 管理部管理

退職致しました。

もちまして清里町農業協同組合を

私事ですが、この度3月31日を

様々な機会を通してご指導ご鞭撻 多くありませんでしたが、援農等 仕事上関わらせていただく機会が 組合員の皆様におかれましては

を頂戴致しました。

様をはじめ、公私ともに支えてい し上げます。 厚情とご指導の賜と心よりお礼由 ただいた上司や同僚の皆様方のご てこられましたのも、 何かと至らぬ私が本日まで勤め

職の挨拶とさせていただきます。 勝とご多幸をご祈念申し上げ、退 合員の皆様、 業協同組合の益々のご発展と、 5年間、 最後になりましたが、清里町農 大変お世話になりまし 役職員の皆様のご健 組

> 夏にかけて、北海道から東北の太 霧という種類の霧です。これから たい海の上で冷やされ生じる移流



組合員の皆

懐かし

海霧は、暖かく湿った空気が冷

気象予報士(株式会社ハレックス)●檜山靖洋

お

天気カレ

ました。 敵」となり、霧笛は必要なくなり GPSの普及で、霧に対しては「無 て廃止となりました。レーダーや 平洋側でよく発生します。 したが、2010年3月までに全 1968年には国内に53基ありま 音を鳴らし、船に位置を知らせる 「霧笛(むてき)」が活躍しました。 かつては、霧で視界が悪い時に

がらのやり方がなくなりつつある 行ってきた観測項目の多くが機械 や気象現象の観測のうち、目視で のは、どこか寂しい感じがします ができ、効率化が図られます。 力は防災業務などに集中すること した。自動化することで、人間の による自動観測に切り替えられま 方がなくなりつつあります。天気 仕方のないこととはいえ、昔な 気象観測でも、昔ながらのやり



### ■ JAグループ通信

### JA北海道中央会



JAグループ北海道では、新型コロナウイルスの影響による、学校給食の停止及び卒業式などイ ベントの自粛に伴い、JAグループ北海道役職員はもちろん、同じ協同組合であるぎょれんやコー

プさつぽろ等にも協力頂き、牛乳の消費拡大を行った他、 花きについては、北農ビルにて国産花きの販売会を7月末 まで、毎週金曜日に開催をしています。

また、感染が疑われる方々などの相談対応にご尽力され ている道内保健所の職員皆様の免疫力を高めて頂きたく、 4月(計4回)に牛乳乳製品の無償提供行っております。

新型コロナウイルスにより、行動が制限され体や心にゆ とりが無くなってきていると思います。このような時だか らこそ、家に花を飾り気持ちを明るく、国産の農畜産物を しっかり食べ、新型コロナウイルスに打ち勝ちましょう!



### JA北海道信連



2019年12月、全国各地のJAバンクの 利用者が通帳代わりに利用できるサービスとし て、スマートフォンアプリ「JAバンクアプ リ」の提供を開始しました。

本アプリを利用して、口座残高や入出金明細 をスマートフォンで確認することができます。

JAバンクのキャッシュ カードをお持ちの個人のお 客様であれば、アプリをダ ウンロードして簡単な初期 登録で、誰でも無料で利用 することができます。



### JA共済連北海道



この4月より、生活習慣病になった時の備えと して「特定重度疾病共済(そなエール)」が新た にラインナップされました。JA共済では資料請 求キャンペーンを実施しており、キャンペーン期 間中に資料請求をいただいた方にもれなくプレゼ ントをご用意しております。

キャンペーンの応募期間は令和3年3月10

日までですが4期に分か れております。この機会 に、JA共済のホーム ページにアクセスいただ けますようお待ちしてお ります!



(※上記の写真は第1期の賞品です。第2期以降の賞品については変更となる場合がございます。



ホクレンは3月31日、演劇ユニット「TEAM NACS」リーダーの森崎博之さんの「ホクレンア ンバサダー」就任会見と、2020年度女子陸上競 技部の新体制記者発表を、ホクレンビルでそれぞ れ開きました。森崎アンバサダーは、「拓くぞ! 未来」プロジェクトを通じ、北海道農業の魅力を 広く発信予定。この日はその初仕事として、新人

の保坂野恋花選手を加 えた女子陸上チームメ ンバーたちを「北海道 農業のため、ともに頑 張ろう」と激励しまし



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内 容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容 はWEBサイトをご覧ください。

### JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を 守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図るこ とを目的として、広報誌「すまいる」を発行して おります。年3回発行しており、様々な医療・健 康情報を発信しております。

ホームページ にもバックナン バーを掲載して おりますので、 是非ご一読くだ さい。







### 持続可能なJAの事業運営を考える JAグループ北海道座談会



設整



【出席者】

小林 国之

北海道大学大学院農学研究院准教授

倫宏

JA北海道中央会専務理事

英靖

イ JAピンネ代表理事組合長 **藤 正昭** JAこしみず代表理事組合長

出典:『北海協同組合通信 2020 新春特集号』 「持続可能なJAの事業運営」北海道協同組合通信社

介いただきたい。 労働力確保や施 小

組合員と向き合い、

げた。今は外国人技能実習生と日 3年前に農作業支援事業を立ち上 作の面でもよくない。一番の問題 だんだん畑作3品中心の経営に 戻っていってしまう。 応じて労働力の不足している農家 である労働力不足に対応するため、 と、手間がかかる野菜などが減り、 耕作面積が増えている。そうなる 戸数の減少に伴って1戸当たりの などが活用している。 本人合わせて15人おり、ニーズに んと上げることだが、うちも農家 佐藤 大切なのは生産力をきち これでは輪

らったり、 やろうということで、酪農で数千 る上でも、 畜産が販売高の2割ほどしかない たからなかなか場所がない。 てからもう5年もたつ。 て重要な課題だ。そこを重点的に シ規模の牛舎をつくる構想を立て ふたつめは耕畜連携で、うちは 条件が悪い農地を吸収しても 畜産振興は地域にとっ 安定的に堆肥を調達す 畑作地帯

高めることで事業を持続させてい 経営的な見通しはなかなか厳しい で力を入れている取り組みをご紹 くという話があった。実際に農協 農協の事業運営について 結集力を で支援 黙っていては衰退の道しかないが から人を減らさないこと。その は生産力を維持することと、 タートしようと考えている。 を農協が借り上げ、そこからス 然と人は集まってくるものだ。 いろいろなことをやっていれば自 ためにどんな仕組みをつくるか。

金」の創設を検討している。 体系の確立と併せて「畑作対策基 また、畑作関係では新たな輪作

で、金融や共済、経済事業にもつ ことにより、それが総合事業の中 積を維持し、生産力を高めていく ソフトの両面から、地域の作付面

りの経営面積は平均16%と、離農 だんだん足りなくなってきており 要だと考えている。 はなく、これからも1戸当たりの 模拡大に対応できない。遊休農地 次の策を打たなければ組合員の規 施設で整備したいという構想を 3つめの1万5クラスを半乾ばら 1万~の米ばら貯蔵施設があるが 十津川町と浦臼町に1カ所ずつ、 協の使命と考えている。1戸当た 集荷して有利販売していくかが農 使命を果たす上でまずは施設が必 面積は増えていくだろう。農協の 持っている。現状の施設規模では ては、行政の支援も受けながら新 ている。その中で米の施設につい 米の生産性を高め、それをいかに の8割が水田であり、中心となる に伴ってこの10年間で2倍になっ 宮本 われわれのところは農地

ため、今は離農する酪農家の牛舎 地域 まず 組んでいきたい。これらハード・ マート農業にも地域を挙げて取り 導入を進めており、こうしたス 行政と連携して助成金対応の中で ドローンや田植え機については、 械導入に取り組んでいる。すでに に新十津川町の個人の農園が採用 業実証プロジェクトの個人経営型 もうひとつは、国のスマート農 無人化・省力化に向けた機

ても、 事業に対して行政から支援をいた 緒にやっているし、そうすること 農協事業とはまったく関係がなく 思っている。今も要請があれば、 画していかなければならないと ていただくなど、そこは相互に参 われわれの取り組みに行政に入っ と共同で事業展開をしたり、逆に られている。そのため、町の政策 ライフライン的な組織と位置付け 域の皆さんと一体の組織、 ながっていくという考えだ。 によって、 にける部分もある。 また、地方の農協は、行政や地 組織体をつくって行政と 財政面を含め、 社会の

# 生産性を上げるために必要な経費

小林 農協としてやらなければいけないことが増える一方で、経営の効率化も進めなければならない。これまで北海道の農協は、例えば生活店舗を外部化したり、人件費などの事業管理費を削減しながら、何とか経営の合理化を進めてきたと思うが、今後を考えると、事業の外出しもある程度終わり、人件費の削減も限界にきている。加えて国からは「働き方改革」が求められており、これからどうが求められており、これからどうる。加えて国からは「働き方改革」が求められており、これからどうが求められており、これがらどうが求められており、これがないと、事業の外出しもある程度終わる。加えて国からは「働き方改革」と、人を減らすわけにはいかないた。

宮本 逆に増やさざるを得ない 宮本 逆に増やさざるを得ないる状況だ。

> だろう。 り組んでいるが、そこが難しく シップをやりながら人材確保に取 こと。大学と連携してインターン 試験なども活用しながら、段階的 社会環境の変化に合わせて、資格 正職員でなければ定着は望めない い人材が集まりにくくなっている 上がっていく。加えて一番困って やると農協全体で抱えるコストは う。特に、農作業支援事業などを 上がる。下がることはないだろ に正職員にしていかなければだめ なってきている。女性職員もかつ いることは、地方にはなかなか良 ては8割が準職員だったが、もう 事業管理費は間違いなく

小林 事業管理費の上昇は避け 小林 事業管理費の上昇は避け

が、支援事業はこれから先、農協農家個々からはそれぞれいただく 佐藤 そこが問題だ。派遣先の

どうするのかということを含め こは将来的に営農指導の対価を 組合員の皆さんと共有しなければ も内部でしっかり議論していかな ながら進めていきたいと考えてい 資する形で、しっかり経営管理し 農の法人化の話も、町と農協が出 は行政の支援もいただきたい。酪 の基幹的な事業になると思う。そ 求めていかなければだめだろう。 合として、組合員にも意識変革を できる話ではない。今こそ協同組 ために必要な経費だということを ければならない。生産性を上げる る。そこで掛かるコストについて に、町の基幹産業を育てるために 考えていく必要がある。同時

小林 農協の仕事は農産物の販売など目に見える事業だけでなく で、個々の農協でどこまでやるので、個々の農協でどこまでやるので、手数料や賦課はどこかの段階で、手数料や賦課はどこかの段階で、手数料や賦課はどこかの食膳ででどこまでやるので、個々の農協でどこまでやるので、個々の農協でどこまでやるので、個々の農協でどこまでやるのではどれだけるので、個々の農協でどこまでやるのではどれだける。

かった。旧新十津川農協は賦課金まで営農賦課金をもらっていな宮本(実は、うちは2008年)

ではいったので、90年の3農協合がなかったので、90年のでもらうこのをきっかけに賦課金をもらうこのをきっかけに賦課金をもらうこのをきっかけに賦課金をもらうことにした。水準は空知管内の平均とにした。水準は空知管内の平均とにした。水準は空知管内の平均とにした。水準は空知管内の平均とにした。水準は空知管内の平均とにした。水準は空知管内の平均とにした。水準は空間でもにが出る資金は総合事業の中でやりくりる資金は総合事業の中でも対しても、90年の3農協合がなかったので、90年の3農協合がなかったので、90年の3農協合がなかったので、90年の3農協会がなかったので、90年の3農協会がなかったので、90年の3農協会がなができた。

ても重要になっている。として、そういう仕組みも考えておかなければならない。税金対のとしていない人も多く、農協がサートしていない人も多く、農協がサートしていない人も多く、農協がサートしていないがなければならない。税金対でも重要になっている。

る。われわれとしてもそれに沿っ し流れが変わってきたように感じ い対応になるが、農水省内でも少 きていないところに対しては厳し ないかと。当然、コントロールで らいろいろ言う必要はないのでは きている」と言えるのなら、 ことで「きちんとコントロールで までいかなくても賦課金をもらう ば都市型農協などであれば、黒字 としてコントロールできているの 総合事業をやっていく中で、全体 だめだというのではなく、農協が 済事業を黒字化するよう指導して 農協に対し、営農指導を含めた経 て取り組んでいきたい。 う本来の思いはありつつも、 経済事業は黒字にしてほしいとい であれば問題ないのではないか、 いるが、最近は赤字だからすべて 検討に関しては、農水省も全国の という言い方に変わってきている。 今回の事業基盤に関する 外か 例え

その中で金融事業をめぐる環境

であり、この先も持続可能な経営であり、この先も持続可能な経営を確立する上で、それぞれのと思う。奨励金など環境の変化にと思う。奨励金など環境の変化にと思う。奨励金など環境の変化にと思う。奨励金など環境の変化にと思う。奨励金などにはがら、中央会ションを繰り返しながら、中央会とおうのながであり、この先も持続可能な経営を確立するとがのであるべきかなど、その農協に合わせたお手伝いをというのは共通した課題が厳しいというのは共通した課題が厳しいとおうない。

ただし、この間、農協改革の中で を通じてさまざまなことがあった が、農協に対する社会の意識も変 が、農協に対する社会の意識も変 が、農協に対する社会の意識も変 が、農協に対する社会の意識も変 が、農協に対する社会の意識も変 が、農協に対する社会の意識も変 が、農協に対する社会の意識も変 が、農協に対する社会の意識も変 が、農協に対する社会の意識も変 が、農協でと発言していたし、 は 本来の経済事業だけでなく、地域 を通じている。 できたのではないかと感じている。 できたのではないかと感じている。

でどういうことをやっていたのかべてみると、逆に協同組合が地域とをやってきたが、中身をよく調農協に対していろいろと厳しいこ農協に対していろいろと厳しいこ

て感じている。じゃない、正しかったんだと改め自分たちが進んでいる道は間違い見えてきたのではないか。私自身

小林 これからは「正しかっ小林 これからは「正しかった」ということをもっと声に出した」ということをもっと声に出した」ということを実施しているところがあるがどを実施しているところがあるがどを実施しているところがあるがどを実施しているところがあるがとま支援事業などの取り組みすのと重でも驚かれる事例だと思う。全国でも驚かれる事例だと思う。と知るでも、本人では、大人を呼ぶためラジオ番組などの媒体もどんどん活用して発信している。

思う。 との積み重ねが大事だとれば達成感があり、また頑張ろうれば達成感があり、また頑張ろうジオを聞いて実際に人が来てくれジオを聞いて実際に人が来てくれ

る。やらなければ何も生まれないる。やらなければ何も生まれないし、ランニングコストもかかる。たのは職員。かなり大きな施設だいているが、その構想を上げてき用して拠点施設をつくろうと今動用で廃校になった高校の跡地を活内で廃校になった高校の跡地を活用で発校になった高校の跡地を活力で廃校になった高校の跡地を活力で廃校になった高校の跡地を活力で廃校になった高校の跡地を活力で廃校になった高校の跡地を活力で廃校になった高校の跡地を活力で発

う。 員が受け止めることも大事だと思 農協はそういう組織であり、組合 業してきたところに心を打たれた。 案してきたところに心を打たれた。 えれる。衰退よりは何かすること。 が、やることによって何かが生

合運動の原点という気がする。とつひとつの積み上げが、協同組理事者も組合員の皆さんに理解し理事者・組合員の皆さんに理解し来で積み上がってくると、今度は米の場所で積み上がってくると、今度は米田 職員の思いがそのような

# 事業間連携など結び付き柔軟に

持ち寄りながら、将来ビジョンを内14農協が連携し、共通の課題をど進んでいないが、これからは管あり、うちを含めて合併はそれほあり、うちを含めて合併はそれほ

模が小さくなってきている。その 伴い、どこの農協も野菜の生産規 持っているが、水田の規模拡大に 果物などの選果施設は各農協で 設の共同利用を検討してきた。青 わ、ピンネの3農協の間で選果施 域のJAたきかわ、JA新すなが 新たな取り組みとして、中空知地 グループの大切さが自然と伝わっ 進めることによって、それを見て う、もっと広いところに目を向け ランドを大切に育てていくとい 域を守り、共有のオホーツクブ ことだけではなく、組織全体で地 連を核にして、単体の農協事業の 対応してくれるが、管内特有の悩 うな組織にしていきたいと考えて 連に集め、いつでも相談できるよ 対応できる人材をオホーツク農協 うな事業の中身を精査し、 変なので、各農協ではできないよ ば、うちにはオホーツク農協連が その中で事業間連携に関して言え ていくのではないかと考えている。 いる組合員にも、協同組合やJA た、そうした相互的な取り組みを ていかなければだめだと思う。ま み寺ではないが、オホーツク農協 みというのもある。農協の駆け込 いる。全道的な課題には中央会が ある。小さな農協は人材確保が大 つくっていくことが大事だと思う 宮本うちも事業連携に向けた 、それに

> ら出荷している。また、たまねぎ 別し、産地もしっかり明記しなが めにも、 維持できなくなる前に、何とか2 案している。時間はかかるかもし 農協で小規模な施設を持っている ラ、いんげんなども、それぞれの 案をしている。このほか、アスパ この部分でも何とか中空知る農協 携で中心的な役割を担っており、 はJA新すながわが広域の事業連 新すながわの花をうちの施設で選 設で実現することができた。JA 案し、最初に花きの集荷・選果施 通する品目の選果施設を共有化で きたいと思っている。組合員のた れないが、規模が縮小して施設を が、地域で連携が取れないかと提 で事業連携が組めないかという提 きないかということを5年前に提 ため3農協で事業連携を組み、 つ、3つの事業連携を形にしてい ぜひ進めていきたい。

佐藤 施設をまとめるのは大変し、いかあるから時間がかかる。しかいがあるから時間がかかる。しかいがあるから時間がかかる。しかいがあるから時間がかかる。したいがあるから時間がかかる。したのとつとつとが、あれば実に5年ぐらいかかった。中はりわが町、わが農協という思いがあるから時間がかかる。し、いよいよひどくなってからでし、いよいよひどくなってからでし、いよいよひどくなってからでし、いよいよひどくなってからでし、いよいよひどくなってからでし、いよいよひどくなってからでし、いよいよひどくなってからで

ば。 生の話をしていかなけれ

感じる。その中には、いろいろな ば、その体制を維持していくため 果が単独での総合事業体だとすれ 直し、トータルコストを圧縮して ど連合会が入りながら、JAグ オホーツクのような地区単位でや るのか。地域や事業内容によって 利用もある。それをどの範囲でや 事業間連携もあれば、施設の効率 いうのは、ある意味チャンスだと 域で考える土壌が出来つつあると は思わないし、皆さんが考えた結 えば農協合併についても、今まで などの話は出てこないと思う。 スとして捉えないと、事業間連携 る限りのことをしていきたい。 いけるよう、中央会としてもでき ループの役割を北海道全体で考え れわれ中央会やホクレン、信連な そういう皆さんの協議の場に、わ な農協単位でやれるものもある。 るところもあれば、中空知のよう にできることは何か、各農協や地 のようにどんどん進めればいいと くそのとおりで、ピンチをチャン まっていかないというのはまった 厳しくならないとまと 例

集約化などを通じて浮いた人員をているのは、金融店舗やATMの運営のあり方ということで出てきまた、全国的に持続可能な事業

していく必要があるだろう。せていく必要があるだろう。というのだ人になっている。そう考えるさにそれだし、こしみずの農作業さにそれだし、こしみずの農作業さにそれだし、こしみずの農作業さにそれだし、こしみずの農作業がると言える。そう考える対話型の業務に回すというのが大対話型の業務に回すというのが大

り方をもう少し広い視野から柔軟 きたい。 いながら、外にも発信していただ 員や地域の人たちに理解してもら 持って取り組みつつ、まずは組合 これまでやってきたことに自信を 再評価されてきている部分もある。 は十分に持続可能な存在であり、 に考えていければ、JAというの ンスに変わっている。そこをこれ 支援していきましょうというスタ 最優先し、単独でいくのであれば てきたが、今は各JAの考え方を げ、そこに向かって北海道もやっ については、最初に合併目標を掲 からも大事にしながら、農協のあ 小林 これまで組織基盤の強化 今日はありがとうござい

(おわり)

# ホクレン原料所職員紹介

(右より) ①本田 航司 所長代理 ②1年目職員紹介①氏名 ②在籍年数



TEL 0150-05-20-1 F000-4405 北海道斜里郡清里町羽衣町2番地発行/清里町農業協同組合

# ■北海道オホーツク総合振興局

て参りますので、今後ともよろしくお願い致します。の確保や省力的な生産技術の構築に向けた支援を行なっしながら活動を推進しています。さらに、多様な担い手菜の安定生産を目指し、町やJAなどの関係機関と連携普及センターでは、畑作三作物を始め、畜産や露地野



②1年目 ③畑作①若杉 行盛 主査(防疫)①割石より)①担当部門

紹介

22

 ②2年目
 ③園芸

 地域第1係長

②<br/>
1<br/>
1

①三上 由美枝 主査 (地域支援)

②2年目 ③園芸

②1年目 ③畑作

②1年目 ③畑作

②3年目 ③畑作

②2年目③畑作 東門普及指導員

②5年目③畜産